

編集後記

第93回日本整形外科学会学術総会は、東京慈恵会医科大学の丸毛啓史会長のもと2020年6月11日～8月31日に史上初のオンライン学術総会として開催されました。昨年までは予想だになかった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的拡大を受けて、学術集会が直前に迫る3月の時点での開催形式変更の決定、そして短期間における前例のないオンライン学会への準備と、この間における丸毛会長ならびに東京慈恵会医科大学整形外科学教室の皆様のご苦労・ご苦心は想像に余りあります。しかし、最終的には1万5千人を超える過去最多の参加者を得て盛会となっただけでなく、これからのウィズコロナ、アフターコロナの時代に活かされていくであろう多くのノウハウ、レガシーを残した、まさに歴史に残る学術総会となりました。

オンライン学会の最大の利点は、すべての講演、発表を自宅や仕事場に居ながらにして、じっくりと視聴できることだと思います。オンデマンド配信であれば、何度も繰り返し視聴することもできます。多くの会場に分かれ、しかも時間が限定される従来の学会ではこうはいきません。薄暗い学会会場だと、つい居眠りしてしまうこともありましたが、PCの前で集中して視聴することにより、頭に残るものは、より大きいように思います。質疑応答はWEB上で行うことになりましたが、これも、時間に追われて慌ただしく討論をしていた参集型の学術集会よりむしろ良いのかもしれない。

さらに、参加者が増え、会場費等もかからないことから学会運営の収支にも有利に働きます。参加者に

ととても交通・宿泊費がかからない上、教育研修単位の取得も容易になるなどメリットが大きいと言えます。一方、やはり学会の意義は、開催地に会員が一堂に会し、全国や海外の先生方と交流することだという声もあるでしょう。さらに、御当地の食を楽しみ酒を酌み交わすことこそが学会の醍醐味だとも思いますが、そんなことを言うと、それこそがコロナ禍を機に脱却すべき「おっさん文化」だ、などと言われてしまいそうです。いずれにしろ、人的な交流や対面での情報交換・議論によってこそ得られるものも多いのは確かだと思います。アフターコロナの時代にあっては、オンラインと対面のそれぞれの利点・欠点をよく考慮し、バランス良く取り入れていくことが求められているのではないのでしょうか。

今月号の特集は、「アキレス腱断裂診療のコツと最近のトピックス」です。本特集は、2019年に刊行された『アキレス腱断裂診療ガイドライン（改訂第2版）』策定委員会の委員長を務められた帖佐悦男先生にご企画いただきました。保存療法や標準的な手術療法から、PRP療法などの最新の治療法まで、up-to-dateな情報が満載されています。ぜひ日常診療にお役立てください。

ロシアや中国では新型コロナウイルスに対するワクチンの接種が始まったことが報道されています。功を急ぐあまり、新たな健康被害など起こしてしまっては元も子もありません。全人類の英知を結集して、安全かつ確実な形で新型コロナウイルスが制圧される日が早期に訪れることを期待したいと思います。

（山下敏彦）

「整形・災害外科」第63巻 第12号（11月号） 2020年11月1日発行（毎月1回1日発行） 定価（本体2,500円＋税） 年間購読料金 定価（本体39,400円＋税） 〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165〔編集室直通〕 TEL 03 (3811) 7184〔営業部直通〕 FAX 03 (3813) 0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 日本医学広告社 TEL 03 (5226) 2791
---	--

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。